

保護者の皆様

豊明市立沓掛中学校校長

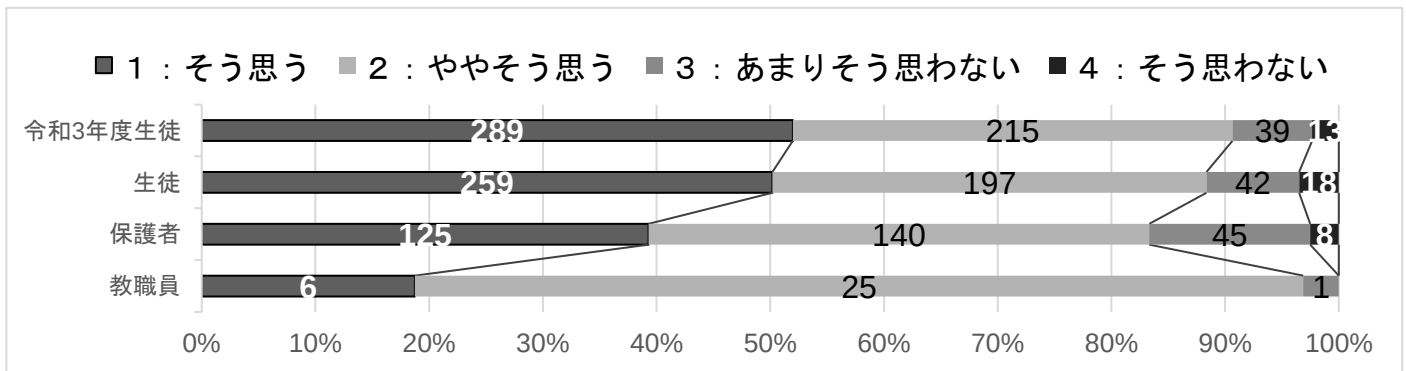
小川 実

学校評価アンケートの結果について

平素より本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、感謝申し上げます。本校では、1月に生徒・保護者・教職員を対象に学校評価アンケートを実施しました。集計ができましたので「割合グラフ」と「分析」をお知らせいたします。この集計結果を真摯に受け止め「より魅力ある学校づくり」に努めてまいります。ご協力ありがとうございました。保護者のアンケート回収率は約6割です。

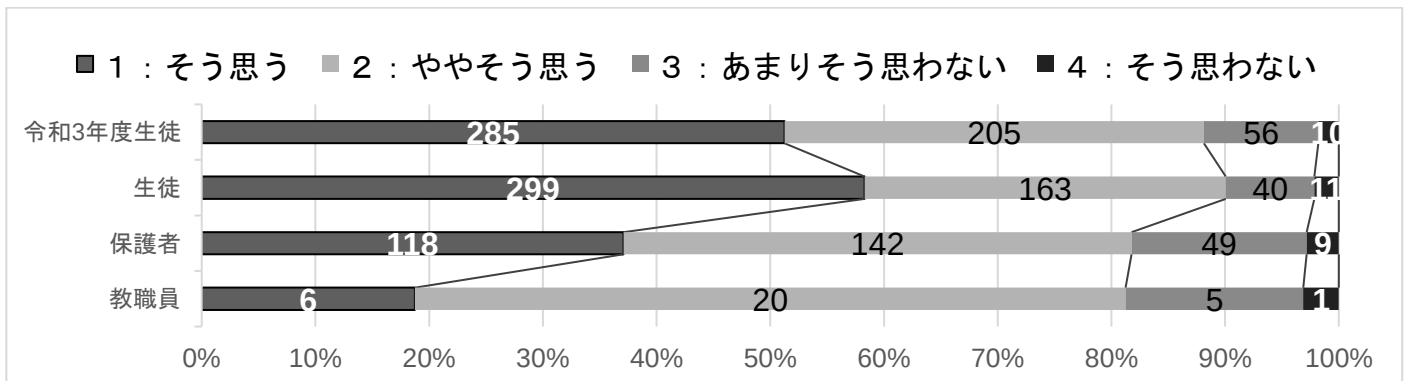
※ グラフの中の数字は人数を表しています。それぞれの設問に「無回答」がありますので、合計人数は一定ではありません。

1. 沓掛中学校の生徒は、学校生活に満足している。



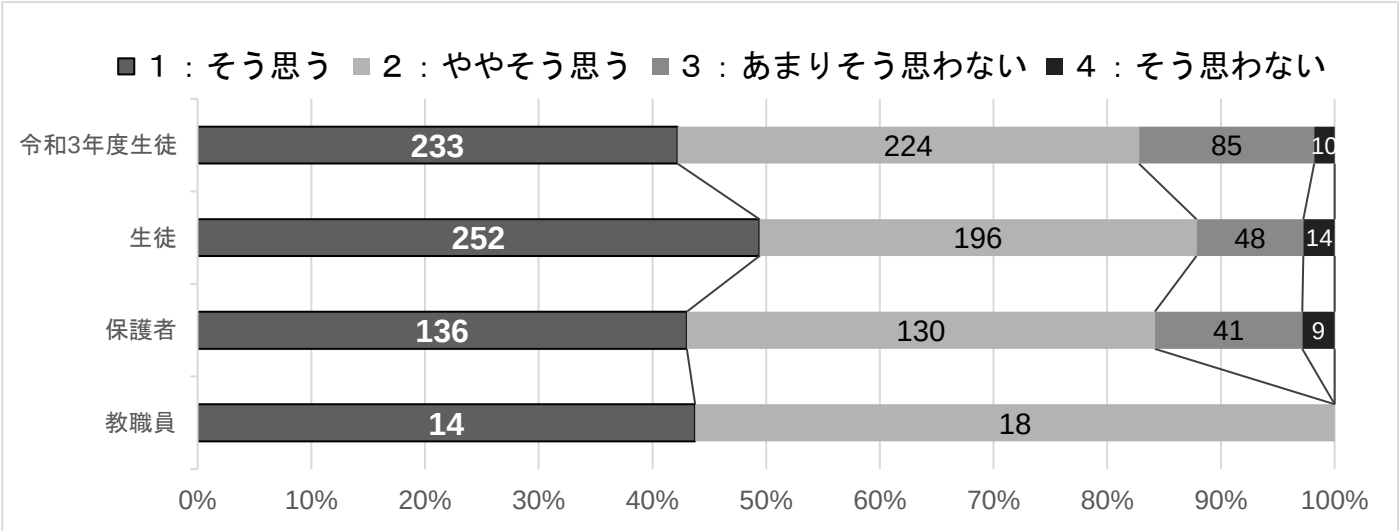
学校生活に対して満足している割合は、三者とも80%を超えていますが、昨年度の値と比較すると、肯定的な回答をした生徒の割合が下がっています。また、10%を超える生徒が学校生活に満足していると「思わない」を選んでいる現状を真摯に受け止めていく必要があります。今後も生徒の満足度がより高くなるような、「学校に来ることが楽しみになる」学校作りを教職員一同務めていきます。

2. 沓掛中学校の生徒は、自ら進んで挨拶をしている。



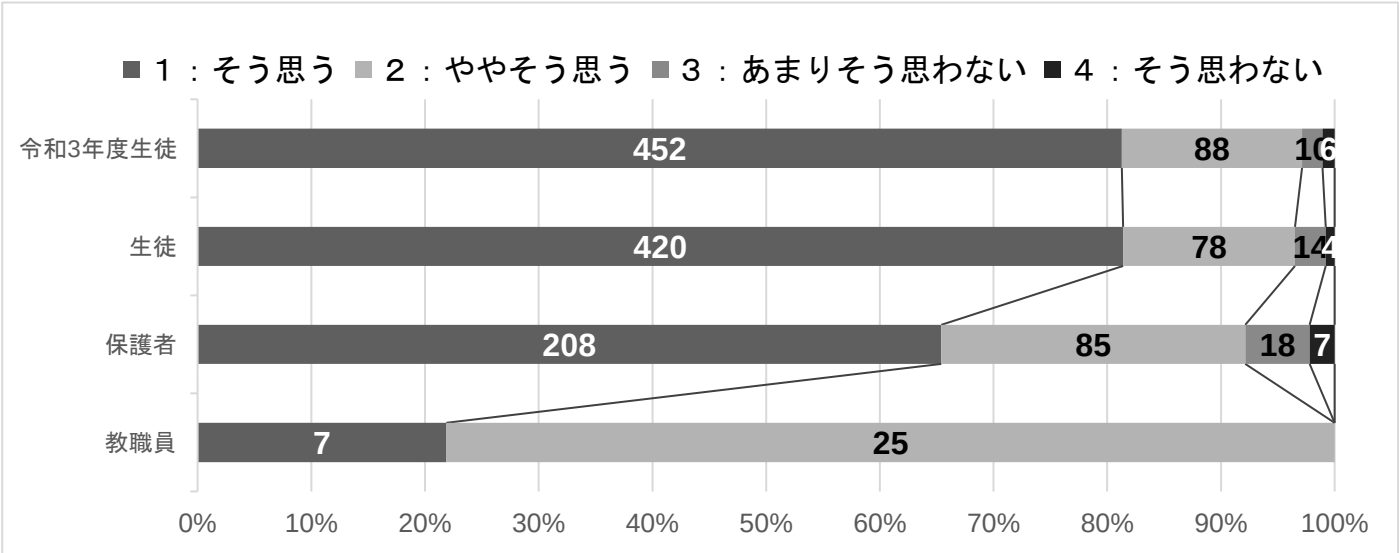
三者とも8割以上が「そう思う」「ややそう思う」と答えています。毎朝、正門や昇降口に立って挨拶をしていると、挨拶ができる生徒が確実に増えてきていることを感じます。また、地域の方からお褒めの言葉も多くいただいています。生徒会やPTAが挨拶運動に取り組んでいることが相乗効果を生み出していると思います。しかし、教職員の数字から分かるように自ら挨拶をする生徒はまだまだ少なかったり、相手に伝わりにくい挨拶をしたりしている生徒がいます。すすんで挨拶ができる生徒の育成に引き続き取り組んでいきます。

3. 沓掛中学校の生徒は、学校行事に意欲的に取り組んでいる。



今年度も感染防止対策のために、学校行事は規制がある中で行われましたが、生徒の「そう思う」と「ややそう思う」と答えた割合は昨年度より増えました。体育大会や文化祭の取組の中で見られたように、生徒は行事縮小や変更がある中でも柔軟に対応し、限られた時間の中で集中して活動し、成果を上げることができました。多くの保護者の皆様にもご参観いただきました。生徒は行事を通して多くのことを学び、成長した姿を見せてくれます。より魅力ある行事を行うために内容や運営に関しては更なる検討を重ねていきます。

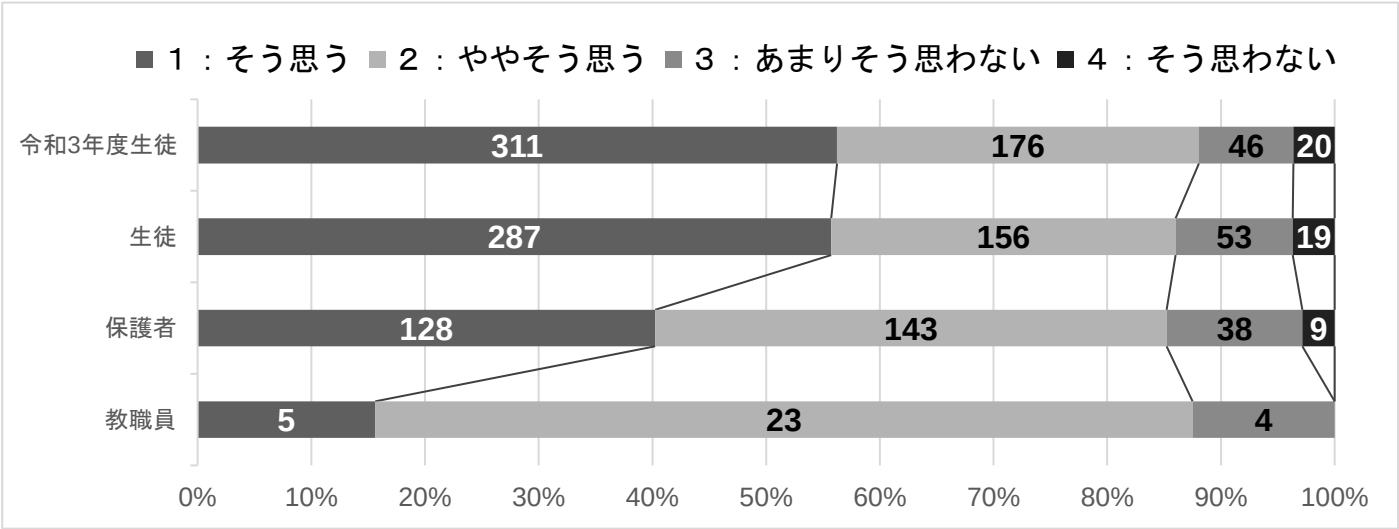
4. 沓掛中学校の生徒は、学校に仲のよい友達がいる。



「そう思う」「ややそう思う」と答えた生徒と保護者の比率は昨年と大きく変わっていません。しかし、5%弱の生徒は「仲のよい友達がいらない」と答えているところに目を向けなければいけないと考えます。この数字を厳しく受け止めて、引き続きQ-Uの結果や教育相談を通して、人間関係の把握に努め、心理的に孤立している生徒がいらないか見守り、寄り添える学校でありたいと思っています。

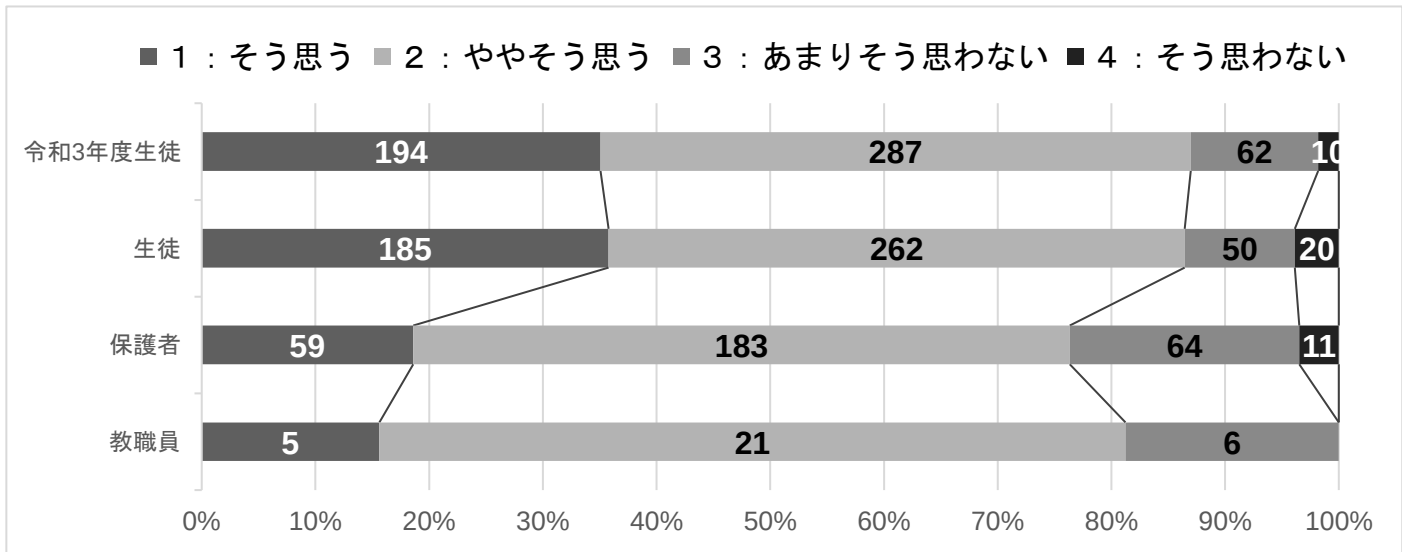


5. 生徒は、困ったことがあると気軽に質問できる人（先生・友達）がいる。



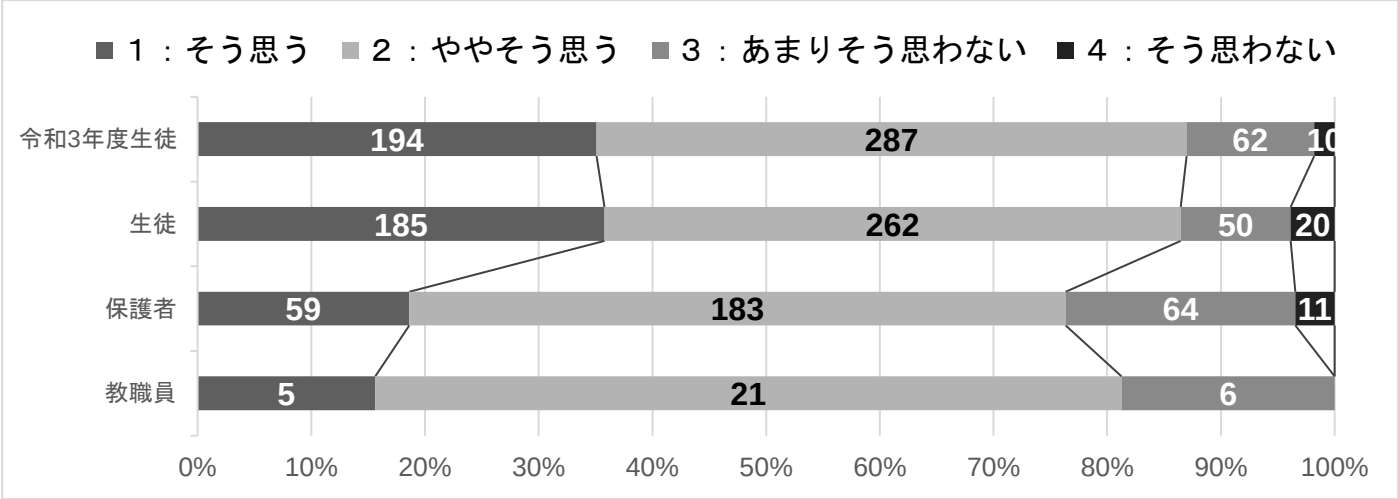
本校では、学期に1回「教育相談期間」をもうけて、担任が一人一人の生徒と向き合う時間を設定しています。また、スクールカウンセラーや心の相談員も週に3日間在駐し、生徒の悩みや困りごとに向き合ってきました。悩みごとによって相談する相手は変わりますが、「一人で問題を抱え込まず、誰かに相談してみよう」というメッセージを今後も出し続けていきたいと思っています。相談ポストが校内に2カ所設置されています。スクールカウンセラーに直接つながります。必要に応じて活用していただければと思います。

6. 沓掛中学校では、生徒にとって分かりやすい授業が行われている。



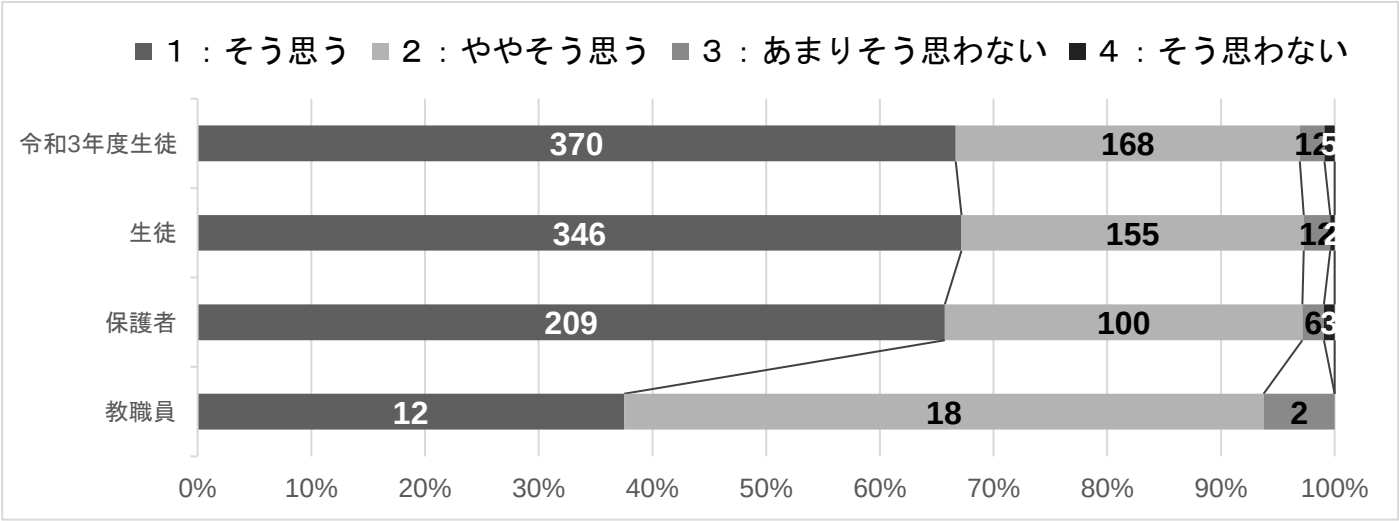
授業に「分かりにくさ」を感じている生徒は約70人います。学年が上がるにつれて人数も微増しています。2・3年生の数学と英語では少人数数学級で授業を行い、生徒の「分からなさ」に寄り添えるような体制作りをしています。また、「ひとりぼっちを作らない」を合い言葉に、グループによる学び合いの手法も多くの教科で取り入れながら授業を進めています。生徒の学習の様子をしっかり観察し、課題を把握し、その上での的確なアプローチができるように今後も教職員一同で研鑽をしていきます。授業の中で、多くの生徒が「分かった」と言える瞬間に出会えるように、「分かりやすい授業」を目指していきます。

7. 沓掛中学校の生徒は、交通安全に注意して登下校している。



「そう思う」「ややそう思う」の割合は三者でかなり差があります。生徒の安全意識と比較して保護者や教師の抱く思いの方が厳しいという現状です。今年度も登下校中のマナーに対する苦情が地域から数件寄せられました。道一杯に広がって登下校しているという内容です。また登下校時の車との接触事故は1件、自転車同士の接触事故は3件ありました。学校では、下校指導を行い、校区の巡回指導も行っています。PTA活動の一環として下校指導も行っていました。自分の安全とともに、地域や周りの人のことも考えた行動がとれるように引き続き呼びかけていきます。ご家庭の方でもお声かけをお願いいたします。

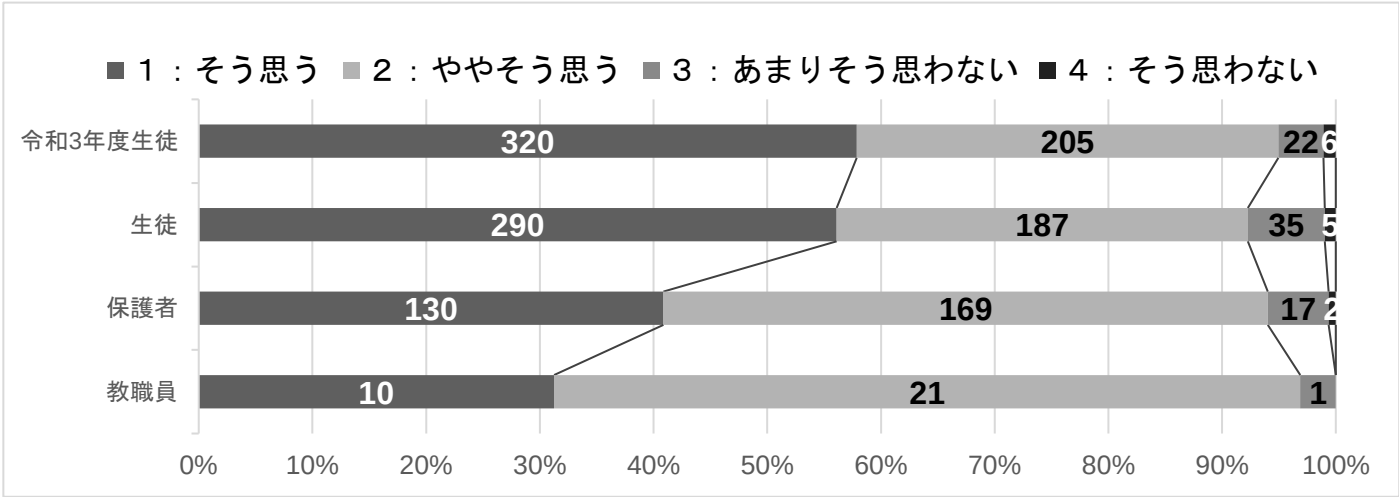
8. 沓掛中学校の生徒は、学校の規則を守って生活している。



多くの生徒が学校の規則を守り、落ち着いて生活することができています。このような学校風土が脈々と先輩から後輩へと受け継がれていることは沓掛中学校の誇りと言えるでしょう。朝の瞑想の時間では、学校中に静寂の時間が訪れます。全生徒が全校放送の呼びかけを目を閉じて聴き、自分自身の心と対話する時間です。このような、静寂の時を全校生徒で共有できることは沓掛中学校の特色と言えます。

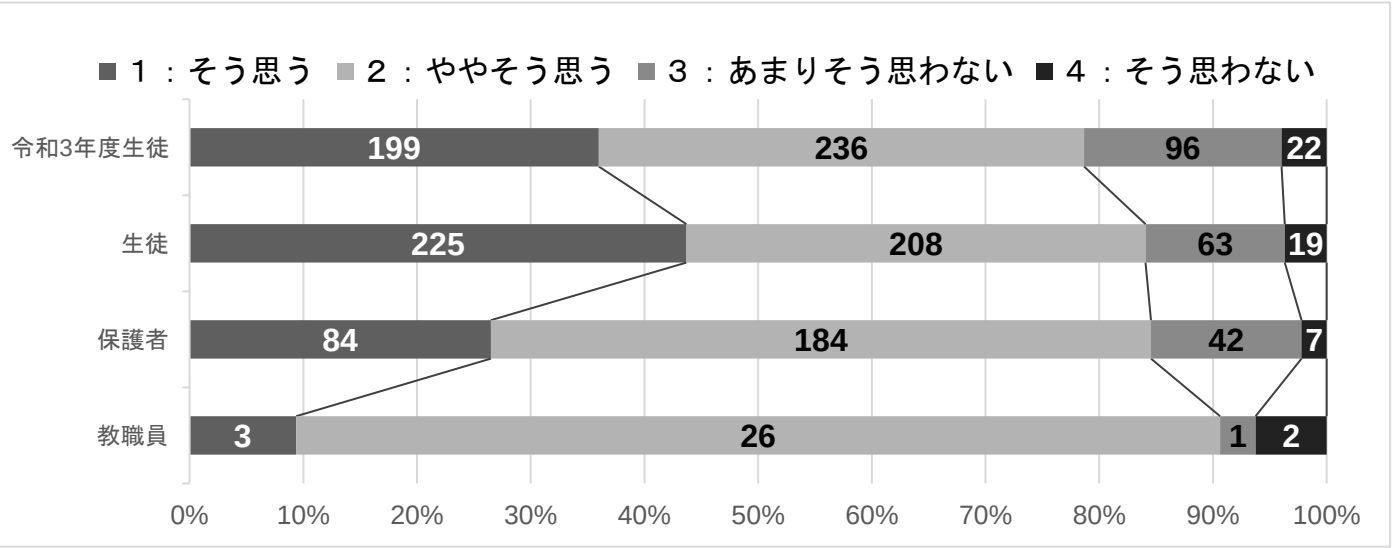
また今年度から新制服が導入され、生徒会が中心となり規則もいくつか改訂されました。主に靴下や靴、防寒着に関することです。多くの生徒が学校生活を気持ちよく快適に過ごせるために、そして中学生らしい身なりについて考えさせながら今後も検討を進めていきたいです。

9. 中学校では、新型コロナウイルス感染防止対策等の健康指導が十分行われている。



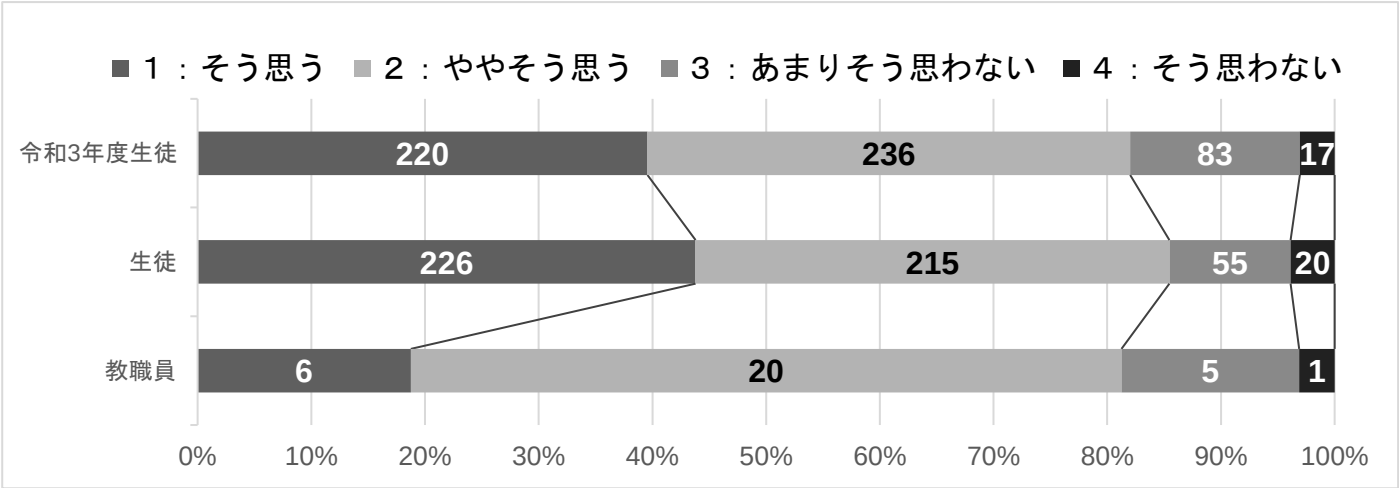
世の中ではコロナに関する研究も進み、それに伴い文部科学省からの「教育活動におけるガイドライン」もずいぶん緩和されてきましたが、今年度もコロナ感染拡大への予防対策が欠かせない1年となりました。昨年度から行ってきた手洗い、喚起、アルコール消毒、マスク着用、検温等の健康観察を中心に、一つ一つの取組の仕方を見直しながら進めてきました。ご家庭におかれましても、体調不良による自宅待機や遅刻・早退に対してご理解ご協力いただきましたことに感謝申し上げます。今後も、学校と家庭で協力しながら、子ども達の健康に留意していきたいと考えています。よろしくお願いします。

10. 沓掛中学校の施設や設備は、安全で使いやすくなっている。



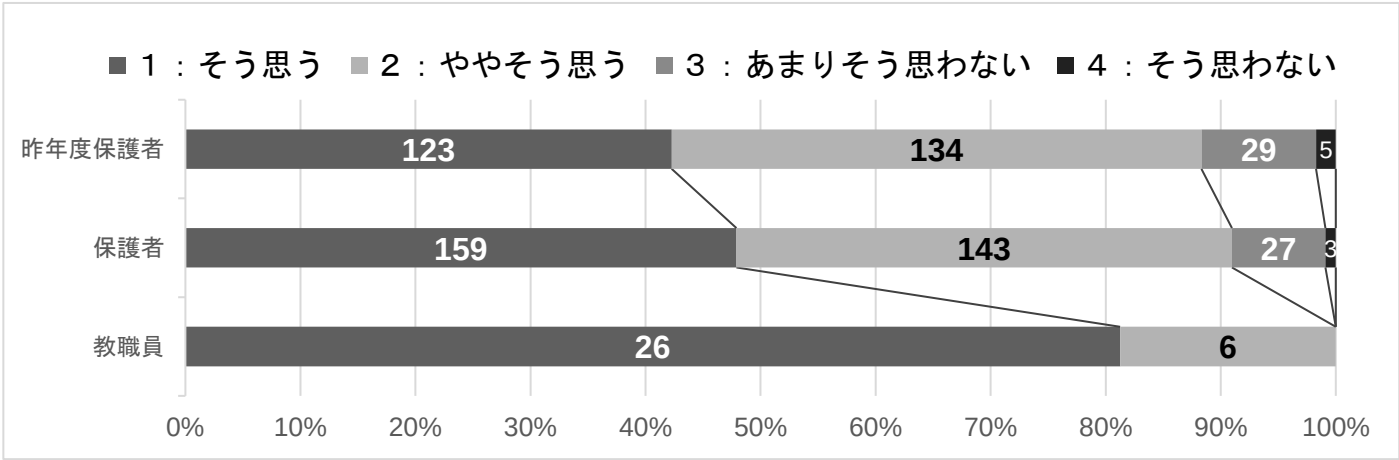
今年度は、本館東トイレと北館トイレの改修工事、体育館ステージ板の張り替え、正門から校舎へ向かう並木道の側溝工事、体育館屋根の補修工事、昇降口前のアスファルト部分の補修工事、テニスコートのグリーンサンド入れ等を行ってきました。また昨年に引き続き、教室等の彩度を保つために蛍光灯の取り替え工事も多く行いました。トイレの改修により、学校の雰囲気もぐっと明るくなったように感じます。今後も限られた予算の中で、生徒がより安全で快適な学校生活を送ることができるよう優先順位を考えながら進めてまいります。来年度には、本館西トイレ、プールとグラウンドのトイレの改修工事が始まります。

1 1. 生徒は、話し合う活動を通して、自らの考えを深めたり広げたりしている。



豊明市では、児童生徒が互いに話し合いながら学ぶ「協同の学び」の研究を進めています。沓掛中学校でも、ペアやグループ活動を通して、生徒自身が課題に対して前向きに向き合い、自ら学び考えるように支援・指導しています。昨年度と比較すると、話し合う活動に対して肯定的な回答をしている生徒が増えています。しかし、「話し合い」の回数や行い方も含めて、内容をさらに精査していく必要があると学校としては捉えています。今後も「話し合い」を通して、生徒の学びがより充実した時間になるように授業研究に力を入れていきます。

1 2. 中学校は、通信やメール配信、懇談会、HP等で生徒の学校での様子を伝えようとしている。



保護者のみなさまから高い評価をいただいております。本年度から、沓掛中学校ホームページにて、毎日の生徒たちの活動の様子を伝えています。校長が自ら校内を回り、生徒と言葉を交わしながら生徒の笑顔や真剣な表情を中心に、写真と一言コメントを添えて配信しています。ぜひご覧ください。また、学校の月の予定表は、3学年統一した書式で配付することにし、ホームページに予定表も載せていますのでご活用ください。他にも一斉メール送信にて、お知らせや連絡等をさせていただきました。中には急な変更や連絡をお伝えすることもあったかと思います。改めて、学校の教育活動へのご理解とご協力に感謝いたします。今後ともよろしくお願いします。